

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 マーベラスエンターテイメント
 コード番号 7844 URL <http://www.mmv.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月9日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 中山 晴喜
 (氏名) 中山 郁伸

TEL 03-5769-7447

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	6,601	△17.5	△1,208	—	△1,243	—	△1,278	—
21年3月期第3四半期	7,997	—	△241	—	△231	—	△151	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△10,807.51	—
21年3月期第3四半期	△1,807.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	6,019	498	8.3	4,088.47
21年3月期	7,520	2,377	31.0	28,083.00

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 498百万円 21年3月期 2,333百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	△21.1	△1,700	—	△1,760	—	△1,700	—	△13,934.43

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年3月期第3四半期	123,380株	21年3月期	84,480株
---------------------	-------------	----------	--------	---------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,380株	21年3月期	1,380株
-----------	-------------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年3月期第3四半期	118,322株	21年3月期第3四半期	84,097株
----------------------	-------------	----------	-------------	---------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）における当社グループの連結業績は、売上高6,601百万円（前年同期比17.5%減）、営業損失1,208百万円（前年同期は営業損失241百万円）、経常損失1,243百万円（前年同期は経常損失231百万円）、第3四半期純損失1,278百万円（前年同期は純損失151百万円）となりました。

売上高におきましては、音楽映像事業においてアニメーションの受託制作受注が減少したことや、デジタルコンテンツ事業における販売不振が主因となり、前年同期と比べ減少いたしました。

利益面におきましては、本社移転等による本社固定費の圧縮や各事業部門における広告宣伝費・原価の削減による事業の効率化に努めてまいりました。音楽映像事業・舞台公演事業においては、効率化が進み利益率は向上いたしました。デジタルコンテンツ事業において、国内外における販売不振に加えて、市況の低迷が続く中で将来の販売計画の見直しを余儀なくされ棚卸資産を厳格に評価した結果、それらに係る評価減（728百万円）を売上原価に計上したことにより、前年同期と比べ損失が拡大いたしました。

また、連結子会社である株式会社アートランドの今後の業績見通しを勘案した結果、同社に係るのれん等の減損損失（47百万円）が特別損失として発生いたしました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

①音楽映像事業

音楽映像事業におきましては、アニメーションを中心とした優良コンテンツの音楽・映像商品（パッケージソフト）化とコンテンツの企画立案から二次利用までを行うマスターライツ（映像著作権）保有作品の製作を行っております。

音楽

音楽事業におきましては、「プリキュア」シリーズの企画音楽が好調に推移した他、専属アーティスト『中河内雅貴』、『古川雄大』、『vistlip』の楽曲等を中心に商品を編成いたしました。特に、ヴィジュアル系アーティスト『vistlip』は、2009年7月にフランスで開催された「Japan Expo 2009」や2009年10月にフィンランドで開催された「Tsukicon」など海外で行われた日本のポップカルチャーイベントへ参加した他、初のワンマンライブや年末カウントダウンライブ等も盛況となるなど精力的な活動を展開し、2009年12月に発売した1stフルアルバムも好調な受注推移となりました。

映像

映像事業におきましては、前期より引き続き「Yes!プリキュア 5 GoGo!」、「遊☆戯☆王 5D's」、「家庭教師ヒットマンREBORN!」、「ミュージカル『テニスの王子様』」関連DVD等の映像商品化を行った他、新たに「フレッシュプリキュア!」、「タユタマ」、「ジュエルペット」、「宙のまにまに」、「毎日かあさん」、「GA 芸術科アートデザインクラス」、「真・恋姫†無双」、「11eyes」等の映像商品化を行いました。また、「タユタマ」、「真・恋姫†無双」、「11eyes」につきましては、DVDとブルーレイの同時発売を行った他、ライブラリ作品のDVD-BOXやブルーレイBOXの発売を行うなど、投資コストを抑えつつ商品の多様化に努めました。

映像ソフト市場の縮小が加速する中、主力シリーズの受注が堅調に推移したことやライブラリの活用

伴い映像商品の受注は微減に留まったものの、子会社のアートランドにおいてアニメーションの受託制作受注が減少したこと等により、前年同期と比較して売上は減少いたしました。一方で、出資映画作品等の配分収入が好調に推移したことや、コンテンツ償却費および製造原価の圧縮が進んだこと等により、利益におきましては前年同期と比較して増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における音楽映像事業の業績は、連結売上高2,716百万円（前年同期比9.6%減）、連結営業利益396百万円（前年同期比54.4%増）となりました。

②デジタルコンテンツ事業

デジタルコンテンツ事業におきましては、据え置き型及び携帯型ゲーム機を中心としたデジタルエンターテインメントコンテンツの企画・開発・発売を行っております。

当第3四半期累計期間におきましては、国内において、新作オリジナルタイトル「朧村正（Wii）」、「勇者30（PSP）」、「ルーンファクトリー3（DS）」、「ルミナスアーク3 アイズ（DS）」、版權タイトル「家庭教師ヒットマンREBORN! バトルアリーナ2 スピリットバースト（PSP）」等19タイトルを発売しました。（前年同期は23タイトル発売）

英国子会社Rising Star Games Limitedにおいては、「Little King's Story（Wii）」（邦題：王様物語）、「Harvest Moon: Tree of Tranquility（Wii）」（邦題：牧場物語 やすらぎの樹）、「Muramasa: The Demon Blade（Wii）」（邦題：朧村正）等11タイトルを発売しました。（前年同期は12タイトル発売）

米国子会社Marvelous Entertainment USA, Inc.においては、「Little King's Story（Wii）」（邦題：王様物語）、「VALHALLA KNIGHTS ELDAR SAGA（Wii）」、「Half-Minute Hero（PSP）」（邦題：勇者30）等4タイトルを発売しました。（前年同期は1タイトル発売）

これまで、タイトルの絞込みを行いながらも、新たなオリジナルシリーズの創出とブランド力の確立に向けて、ワールドワイド向けの大型タイトルの開発に積極的に注力してまいりましたが、国内外におけるゲーム市場の縮小に伴い総出荷本数が軟調となったこと、経済環境の悪化から海外におけるゲームソフトの販売価格が下落したこと、前年同期に大きく売上貢献した「牧場物語」シリーズの新作の発売がなかったこと、デジタルコンテンツ資産の評価減を売上原価に計上したこと等により、減収減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるデジタルコンテンツ事業の業績は、連結売上高3,032百万円（前年同期比26.7%減）、連結営業損失1,232百万円（前年同期は営業利益21百万円）となりました。

③舞台公演事業

舞台公演事業におきましては、漫画やアニメ、ゲームの人気作品を原作にした興行ビジネスを展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、2009年3月まで公演した「ミュージカル『テニスの王子様』The Treasure Match 四天宝寺 feat. 氷帝」の後半公演分、2009年5月に公演した「ミュージカル『テニスの王子様』コンサート Dream Live 6th」、2009年7月から公演した「ミュージカル『テニスの王子様』The Final Match 立海 First feat. 四天宝寺」、全110公演分の実績を計上いたしました。（前年同期は131公演分の実績計上）

前年同期と比較して計上公演数は減少したものの、開催地の適正な選定による効率的な運営を図った結果、売上はほぼ前年同期並となり、利益率は改善いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における舞台公演事業の業績は、連結売上高852百万円（前年同期比0.3%減）、連結営業利益68百万円（前年同期比79.8%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は6,019百万円となり、前連結会計年度末に比べ712百万円減少しました。これは主にデジタルコンテンツの減少687百万円、のれんの減少64百万円によるものです。

負債合計は5,520百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円増加しました。これは主に、長期借入金67百万円によるものです。

純資産合計は498百万円となり、前連結会計年度末に比べ792百万円減少しました。これは主に、資本金及び資本剰余金の増加499百万円、利益剰余金の減少1,278百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

デジタルコンテンツ事業における販売不振及びコンテンツ資産の評価減の計上、並びに複数タイトルの編成見直しを行ったことに加えて、連結子会社2社を譲渡した結果、平成22年3月期通期の連結業績予想の修正を平成22年1月22日に行っております。なお、連結子会社2社の譲渡に伴う関係会社株式売却益122百万円は、平成22年3月期第4四半期会計期間において計上される予定です。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,571,773	1,109,020
売掛金	1,110,293	1,243,996
製品	—	54,419
商品及び製品	72,827	—
仕掛品	207,683	300,172
映像コンテンツ	262,033	153,466
デジタルコンテンツ	1,867,495	2,555,113
原材料及び貯蔵品	26,387	25,753
その他	288,790	476,733
貸倒引当金	△46,238	△47,769
流動資産合計	5,361,045	5,870,907
固定資産		
有形固定資産	193,637	187,204
無形固定資産		
のれん	—	64,279
その他	61,491	86,670
無形固定資産合計	61,491	150,949
投資その他の資産	403,139	522,753
固定資産合計	658,268	860,906
資産合計	6,019,314	6,731,813
負債の部		
流動負債		
買掛金	756,646	818,345
短期借入金	2,879,464	2,281,840
1年内返済予定の長期借入金	8,004	400,000
未払印税	856,479	869,376
未払法人税等	6,597	6,248
賞与引当金	26,192	63,717
返品調整引当金	31,213	27,305
その他	880,682	964,336
流動負債合計	5,445,280	5,431,170
固定負債		
長期借入金	67,994	—
その他	7,246	8,967
固定負債合計	75,240	8,967
負債合計	5,520,521	5,440,138

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,128,472	878,539
資本剰余金	1,129,991	880,059
利益剰余金	△1,688,474	△409,705
自己株式	△27,726	△27,726
株主資本合計	542,263	1,321,167
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△43,470	△44,421
評価・換算差額等合計	△43,470	△44,421
少数株主持分	—	14,929
純資産合計	498,793	1,291,675
負債純資産合計	6,019,314	6,731,813

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	7,997,683	6,601,300
売上原価	5,984,449	5,952,046
売上総利益	2,013,234	649,253
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	432,277	366,887
賞与引当金繰入額	30,910	24,238
広告宣伝費	940,192	763,027
その他	851,834	703,891
販売費及び一般管理費合計	2,255,214	1,858,044
営業損失(△)	△241,980	△1,208,791
営業外収益	53,794	8,175
営業外費用		
支払利息	40,524	39,444
その他	2,325	3,456
営業外費用合計	42,849	42,900
経常損失(△)	△231,036	△1,243,516
特別利益		
貸倒引当金戻入額	18,655	2,191
その他	1,187	204
特別利益合計	19,843	2,395
特別損失		
減損損失	—	47,716
固定資産除却損	—	3,929
特別損失合計	—	51,646
税金等調整前四半期純損失(△)	△211,192	△1,292,767
法人税、住民税及び事業税	2,310	3,098
少数株主損失(△)	△61,508	△17,097
四半期純損失(△)	△151,993	△1,278,768

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	3,656,496	2,253,448
売上原価	2,685,703	2,594,555
売上総利益又は売上総損失(△)	970,793	△341,106
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	117,432	98,349
貸倒引当金繰入額	—	7,099
賞与引当金繰入額	30,910	24,238
広告宣伝費	456,170	271,274
その他	279,372	209,070
販売費及び一般管理費合計	883,886	610,032
営業利益又は営業損失(△)	86,906	△951,139
営業外収益	4,489	16,875
営業外費用		
支払利息	13,919	15,390
その他	1,284	18
営業外費用合計	15,203	15,409
経常利益又は経常損失(△)	76,192	△949,673
特別利益		
貸倒引当金戻入額	△474	—
特別利益合計	△474	—
特別損失		
減損損失	—	47,716
特別損失合計	—	47,716
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	75,717	△997,390
法人税、住民税及び事業税	770	1,472
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△11,056	813
四半期純利益又は四半期純損失(△)	86,004	△999,675

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△211,192	△1,292,767
減価償却費	99,160	89,699
減損損失	—	47,716
映像コンテンツ償却額	498,399	447,690
のれん償却額	24,104	24,104
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△49,306	△37,524
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18,655	△2,191
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	10,996	4,917
受取利息及び受取配当金	△303	△69
支払利息	40,524	39,444
デジタルコンテンツ評価損	—	728,035
固定資産売却損益 (△は益)	—	△204
固定資産除却損	—	3,929
売上債権の増減額 (△は増加)	735,859	107,457
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,047,941	△449,408
仕入債務の増減額 (△は減少)	△425,743	△33,227
未払金の増減額 (△は減少)	△304,118	65,036
未払印税の増減額 (△は減少)	△85,789	△12,896
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11,017	△4,475
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△225,295	121,630
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	346,173	△133,017
その他	—	△2,962
小計	△624,143	△289,081
利息及び配当金の受取額	303	69
利息の支払額	△44,049	△30,527
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△187,420	66,824
営業活動によるキャッシュ・フロー	△855,309	△252,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△59,635	△80,949
有形固定資産の売却による収入	10,285	3,500
無形固定資産の取得による支出	△81,485	△6,058
敷金及び保証金の差入による支出	—	△88,347
敷金及び保証金の回収による収入	—	136,240
貸付けによる支出	△1,660	△1,900
貸付金の回収による収入	1,350	2,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△131,145	△35,035

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,220,118	2,970,320
短期借入金の返済による支出	△2,279,613	△2,384,928
長期借入れによる収入	—	80,000
長期借入金の返済による支出	△24,265	△404,002
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△704	△1,936
株式の発行による収入	—	499,865
配当金の支払額	△62,389	△675
自己株式の取得による支出	△27,726	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	825,419	758,642
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,507	△8,140
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△146,528	462,752
現金及び現金同等物の期首残高	1,334,636	1,109,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,188,108	1,571,773

(4) 継続企業の前提に関する事項

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	音楽映像 事業 (千円)	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	舞台公演 事業 (千円)	計 (千円)	消去又 は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,005,801	4,136,579	855,303	7,997,683	—	7,997,683
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,072	—	—	9,072	(9,072)	—
計	3,014,873	4,136,579	855,303	8,006,756	(9,072)	7,997,683
営業利益又は営業損失(△)	256,934	21,316	37,910	316,161	(558,141)	△241,980

- (注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。
2 各事業の主な製品又は事業の内容
(1) 音楽映像事業……………DVD、音楽CD、音楽原盤制作等
(2) デジタルコンテンツ事業…………ゲームソフト
(3) 舞台公演事業……………舞台公演

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	音楽映像 事業 (千円)	デジタル コンテンツ 事業 (千円)	舞台公演 事業 (千円)	計 (千円)	消去又 は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,716,726	3,032,066	852,506	6,601,300	—	6,601,300
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,512	—	—	3,512	(3,512)	—
計	2,720,238	3,032,066	852,506	6,604,812	(3,512)	6,601,300
営業利益又は営業損失(△)	396,598	△1,232,480	68,143	△767,738	(441,052)	△1,208,791

- (注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。
2 各事業の主な製品又は事業の内容
(1) 音楽映像事業……………DVD、音楽CD、音楽原盤制作等
(2) デジタルコンテンツ事業…………ゲームソフト、PCソフト
(3) 舞台公演事業……………舞台公演

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,141,362	810,915	45,405	7,997,683	—	7,997,683
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	107,412	—	—	107,412	(107,412)	—
計	7,248,774	810,915	45,405	8,105,096	(107,412)	7,997,683
営業利益又は営業損失(△)	440,180	△102,623	△23,617	313,939	(555,920)	△241,980

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (千円)	イギリス (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,936,380	603,136	61,783	6,601,300	—	6,601,300
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	209,322	—	—	209,322	(209,322)	—
計	6,145,703	603,136	61,783	6,810,623	(209,322)	6,601,300
営業損失(△)	△620,334	△116,834	△20,996	△758,166	(450,624)	△1,208,791

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	814,985	123,757	27,742	21,468	987,954
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	7,997,683
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.2	1.6	0.4	0.3	12.4

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
2 本国以外の区分に属する主な国又は地域
(1) 欧州……イギリス、フランス、ドイツ
(2) 北米……アメリカ
(3) アジア……韓国、フィリピン
3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	欧州	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	816,505	221,455	2,597	73,393	1,113,951
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	6,601,300
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.4	3.4	0.0	1.1	16.9

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。
2 本国以外の区分に属する主な国又は地域
(1) 欧州……イギリス、フランス、ドイツ、イタリア
(2) 北米……アメリカ
(3) アジア……韓国、台湾
3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

株主資本等関係

当第3四半期連結会計(累計)期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結累計期間末
普通株式(株)	123,380

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結累計期間末
普通株式(株)	1,380

3 新株予約権等に関する事項

会社法施行日以前に付与したストック・オプションにつき、該当事項はありません。

4 配当に関する事項

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成21年4月27日付で、当社代表取締役社長中山晴喜から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が249,932千円、資本準備金が249,932千円増加し、当第3四半期連結累計期間末において資本金が1,128,472千円、資本剰余金が1,129,991千円となっております。

6. その他の情報

(重要な後発事象)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

1. 子会社株式の譲渡

当社は、平成22年1月22日開催の当社取締役会において、当社が保有する連結子会社である株式会社デルファイサウンドの全株式を株式会社アミューズキャピタルに譲渡することを決議し、1月29日付けで株式譲渡契約を締結いたしました。

また、平成22年1月22日開催の取締役会において、当社が保有する連結子会社であるRising Star Games Limitedの全株式の譲渡について、株式会社インターグローと基本合意書を締結することを決議し、同日付けで基本合意書を締結いたし、1月29日付けで株式譲渡契約書を締結致しました。

(1) 株式譲渡の理由

当社はこれまで、連結子会社である株式会社デルファイサウンドにおいて、アニメーションの収録や、TVアニメの企画楽曲・ゲーム音楽等の原盤制作を行ってまいりましたが、世界的な金融危機以降の経済の急激な減速の影響によりグループの業績が低迷する中で、グループの経営資源をより収益性と成長性の高い分野へ集中させることが経営基盤の強化に繋がるものと判断し、当社が保有する株式会社デルファイサウンドの全株式を譲渡することと致しました。

また、デジタルコンテンツ事業においてはこれまで、ワールドワイドで通用するオリジナルシリーズの創出とブランド力の確立を目指す中、連結子会社であるRising Star Games Limitedに当社が開発したゲームソフトの流通・販売をライセンスし、欧州地域におけるグループ自社ブランドによるゲームソフト販売を推進してまいりました。しかしながら、世界的な金融危機以降経済が停滞する中、海外におけるゲームソフトの販売環境は急激に変化し、店頭販売価格の大幅な下落から収益性が悪化するなど、海外での自社販売を継続するリスクが高まりました。このような状況下、不採算分野から撤退し、グループの経営資源をより収益性と成長性の高い分野へ集中させることが経営基盤の強化に繋がるものと判断し、当社が保有するRising Star Games Limitedの全株式を譲渡することといたしました。

(2) 子会社及び譲渡先企業の名称及び事業の内容

子会社：株式会社デルファイサウンド（レコーディングスタジオ運営、音楽原盤制作）

譲渡先：株式会社アミューズキャピタル（ベンチャービジネス、不動産投資）

子会社：Rising Star Games Limited（欧州及びPAL地域における、ゲームソフトの流通、販売）

譲渡先：株式会社インターグロー（ゲーム事業、モバイルコンテンツ事業、PCコンテンツ事業）

(3) 譲渡の時期

株式会社デルファイサウンド・・・平成22年1月29日

Rising Star Games Limited・・・平成22年1月29日

(4) 譲渡する株式の数、譲渡価額、関係会社株式売却益及び譲渡後の持分比率

子会社：株式会社デルファイサウンド

譲渡株式数・・・1,000株

譲渡価額・・・10,000千円

関係会社株式売却益・・・81,052千円

譲渡後の持分比率・・・0.0%

子会社：Rising Star Games Limited

譲渡株式数・・・113,730株

譲渡価額・・・無償譲渡

関係会社株式売却益・・・41,184千円

譲渡後の持分比率・・・0.0%